

川崎学園 創業100周年記念事業

スタート



①川崎医科大学 新本館棟プロジェクト

②川崎医科大学 新研究棟プロジェクト

③川崎医科大学附属病院 北館棟・西館棟改修プロジェクト

川崎学園創設者で初代理事長の川崎 祐宣が 1938 (昭和 13) 年、岡山市に「外科昭和医院」を開業してから今年で 87 年目を迎える学校法人川崎学園は、創業 100 周年記念事業として川崎医科大学附属病院本館棟の全面建て替え〈新本館棟プロジェクト〉をスタートさせます。

これまで川崎学園は、1970 年に開学した川崎医科大学で人間性豊かな良き医療人の育成を行うとともに、1973 年に開院した附属病院では特定機能病院として高度で安心安全な医療を地域の皆様に提供してまいりました。このたび施設設備の老朽化、狭隘化が進んでいる附属病院本館棟を、最先端の高度医療導入のため、現地での全面建て替えを行います。

まず、現在の本館棟の北側 (病院玄関の前) に外来棟 (1 期棟) を新築、引き続き本館棟を解体した後に中央診療部門や病棟が入る 2 期棟、3 期棟を建築いたします。これに並行して、既存の北館棟・西館棟を改修整備し、高度救命救急センター集中治療室 (ICU) などの急性期機能の充実を図ります。合わせて受水槽を移転新設するなどエネルギーセンターを一新し、災害拠点病院として災害時にしっかりと患者さんを受け入れる体制づくりを強化いたします。

また、新研究棟プロジェクトとして、最新の医学研究を進めるための新研究棟を川崎医科大学の東側に整備いたします。

これらすべての工事、プロジェクトの完了は創業 100 周年にあたる 2038 (令和 20) 年を予定しています。

引き続き地域とのつながりを大切にしながら、創設者の「思い」を引き継ぎ、この先も皆様に信頼していただける学園を目指してまいります。



新本館棟



新研究棟

- 川崎医科大学 新研究棟
(地上 6 階建 約 8,500 m²)
SRC 造+S 造 (2027 (R9) 年 9 月竣工予定)

- 川崎医科大学 新本館棟
(地下 1 階地上 14 階建 約 86,000 m²)
SRC 造+S 造 (2034 (R16) 年 12 月竣工予定)

2038 (R20) 年 創業 100 周年記念事業完成予定